

総合型選抜（離島枠）の目的、評価する能力、

期待する成果・効果及び実施する合理的な理由について

●当該選抜の目的：

地理的条件により進学に伴う負担が大きい離島地域の状況を踏まえ、その負担を軽減し、学ぶ機会の格差を縮小することを目的とします。

●評価する能力：

アドミッション・ポリシーに基づき、英語（外部検定試験）及び小論文により「基礎学力・表現力」を、書類審査、面接（個人面接）により「活動の実績・学ぶ意欲・活動ビジョン・表現力・コミュニケーション能力」を評価します。

●期待する成果・効果：

離島での生活を通じて地域の文化や課題に触れてきた学生が、本学において「人道」の精神に基づく看護学教育を学ぶことで、将来、地域医療を担う看護職の育成につながるとともに、多様な価値観を持つ学生が学び合い相互に視野を広げるといふ本学の建学の精神に合致した学修環境の形成にも寄与すること、そして多様なキャリアパスへつながることを期待します。

●実施する合理的な理由：

入学者選抜における公平性・公正性の確保という点から、地理的条件により進学に伴う負担が大きい離島地域の状況を踏まえ、地理的・経済的負担を軽減し、受験機会・学修の格差を縮小するため。